

除外

No.18の症例



伏見 環(fushimi-tamaki)

差出人: [Redacted]
 送信日時: 2007年3月22日木曜日 18:02
 宛先: 黒川 達夫(kurokawa-tatsuo); 関 英一(seki-eiichi)
 CC: 関野 秀人(sekino-hidehito); 植村 展生(uemura-hobuo); 伏見 環(fushimi-tamaki)
 件名: [Redacted]
 重要度: 高

黒川審議官
関課長

[Redacted]より詳細連絡頂きました。
 [Redacted]入院例です

- > 症例の概要です。
- > 14歳男子
病名
- > 1. 異常行動
- > 2. インフルエンザB感染症
- > 3. 右第2～4中足骨骨折
- >
- > 3月15日朝から38℃台の発熱、咳嗽出現した。病院には行かず、学校を休み自宅
- > で安静にした。16日咳嗽、咽頭痛、全身倦怠感があったが、36℃台に解熱したい
- > ため、登校し、その後塾に行った。22時帰宅しテレビを見て0時前に2階の自室で
- > 就寝した。その後夢の中で何かに追いかけられ、それから逃げようと思ひ飛び降りた
- > ら、それが現実だった。本人が気付いたときは自宅の庭に飛び降りており、助けを求
- > めようと道路に出たが誰もおらずしばらくその場で寝ていたところ、17日朝4時近
- > 所の人に発見され救急車で当院まで搬送された。
- > 家族: 祖父母、両親、兄、妹の7人暮らし(妹が10日前にインフルエンザBに感染。
- > 学校でインフルエンザの流行有り)
- > 既往歴: 特記なし
- 救急搬送時と当院到着時意識清明。体温39.4℃。インフルエンザA(-)B(+).右第
- > 2～4中足骨骨折あり、ギプス固定後入院。補液のみ行った。睡眠脳波、頭部MRI正
- > 常。入院翌日の解熱し、その後も経過順調のため3月19日退院した。

〒 [Redacted]
 [Redacted]
 [Redacted]
 Tel; [Redacted] (内: [Redacted])
 Fax; [Redacted] (直)
 e-mail; [Redacted]
 [Redacted] ホームページ:
[http:// \[Redacted\]](http://[Redacted])